

令和7年5月7日(水)

理工学専攻進学説明会 兼 入試説明会

内容

- 1 大学院組織について
- 2 理工学専攻の教育
- 3 学士と修士の違いについて

4 入試について

4-1 自己推薦特別選抜

4-2 推薦特別選抜

(情報科学・データサイエンス・DX教育プログラムのみ)

4-3 一般選抜・社会人特別選抜・私費外国人特別選抜

4-4 合格発表・入学手続き

5 問合せ

- 募集要項もご覧ください。
- 不明な点がある場合は、入試課並びに専攻学務委員長(森)にお尋ねください。

配信期間は本学大学院入試HP及びmoodleに音声動画を添付致します。

1. 組織・学位

高知大学大学院総合人間自然科学研究科

人文社会科学専攻

理工学専攻

医科学専攻

看護学専攻

農林海洋科学専攻

地域協働学専攻

スポーツ・芸術文化共創専攻

1. 組織・学位

理工学専攻の学位

修士（理学）

数学物理学コース（数学分野・物理科学分野）

生物科学コース

修士（理工学）

化学生命理工学コース

地球環境防災学コース

情報科学・データサイエンス・DX教育プログラム

2. 理工学専攻の教育（3つのポリシー）

入学者受入方針（アドミッションポリシー：AP）

- ・ 理学・理工学を学ぶにあたって必要となる「数学」、「理科」、「英語」の基礎的事項に関して大学卒業程度の知識を有している。
- ・ 物事の考え方や判断基準を科学的・論理的に捉えることができる。
- ・ **数理科学・自然法則、生物科学、情報科学、化学・生命現象、自然災害現象のいずれかの分野に対して好奇心と探究心を持ち、課題に意欲的に取り組める。**
- ・ データの収集や整理を行い、課題に対して科学的に対処できる。
- ・ 自然法則や応用的な科学を主体的に学び、科学倫理を持って、社会の維持・発展に貢献したいという意欲を有している。

教育課程の編成方針（カリキュラムポリシー：CP）

- ・ 専門領域に関する高度な知識を修得し、それを研究遂行に活かす方法を身に付けるために、「**専門科目**」と「**ゼミナール**」を編成する。
- ・ 課題の設定、分析、専門知識の応用及び課題の解決に向けた提案力、課題解決能力を涵養するため「**特別研究**」を編成する。
- ・ 幅広い学問領域への関心と好奇心を持たせるために「**理工学特論II～IV**」を編成する。各コースの学問領域の総合的・全体的な内容を教授するため「**〇〇学序論**」を配置する。「**コース間連携科目**」を指定し、幅広い履修を推奨する。
- ・ 研究の社会との関係や研究企画・立案能力、ディベート能力、プレゼンテーション能力を身に付けるため、「**リサーチプロポーザル**」を編成する。
- ・ 高度専門職業人としての基礎能力及び社会的責任を涵養するために、「**理工学特論I**」を編成する。

学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）

- ・ 専門領域に関する高度な知識を体系的に修得し、研究遂行に活かすことができる。
- ・ 解決すべき課題の設定、課題の分析と知識の活用によって、その解決法を提案することができる。
- ・ 幅広い学問的関心と好奇心を持って課題に向き合い、意欲を持って課題解決に取り組むことができる。
- ・ 専門的知識を適切に活用し、研究成果を的確に発表し、その内容を適切に伝えることができる。
- ・ 高度な専門的知識を持って課題解決に向かうという意識を持ち、専門的知識を持つ自らが社会に負う責任を理解することができる。

2. 理工学専攻の教育（カリキュラム）

- 指導教員（3名以上）

主指導教員（1名）、副指導教員（2名以上） **ここが学部と違う！**

・・・ 複数の学問領域に属する教員が参画

- 履修単位

研究科共通科目（必修）2単位：「リサーチプロポーザル」

・・・ 研究企画・立案能力、ディベート能力、プレゼンテーション能力

専攻共通科目（必修）1単位：「理工学特論Ⅰ」

・・・ 研究倫理、情報倫理、安全衛生、法令遵守、知的財産、
マネジメント力、キャリアパス

専攻共通科目（選択必修）1単位：「理工学特論Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」 **最先端研究**

・・・ 数物情報系（Ⅱ）、生物・化学生命系（Ⅲ）、地球・防災系（Ⅳ）

専門科目（選択必修）14単位： **コース間連携科目**が設定されている

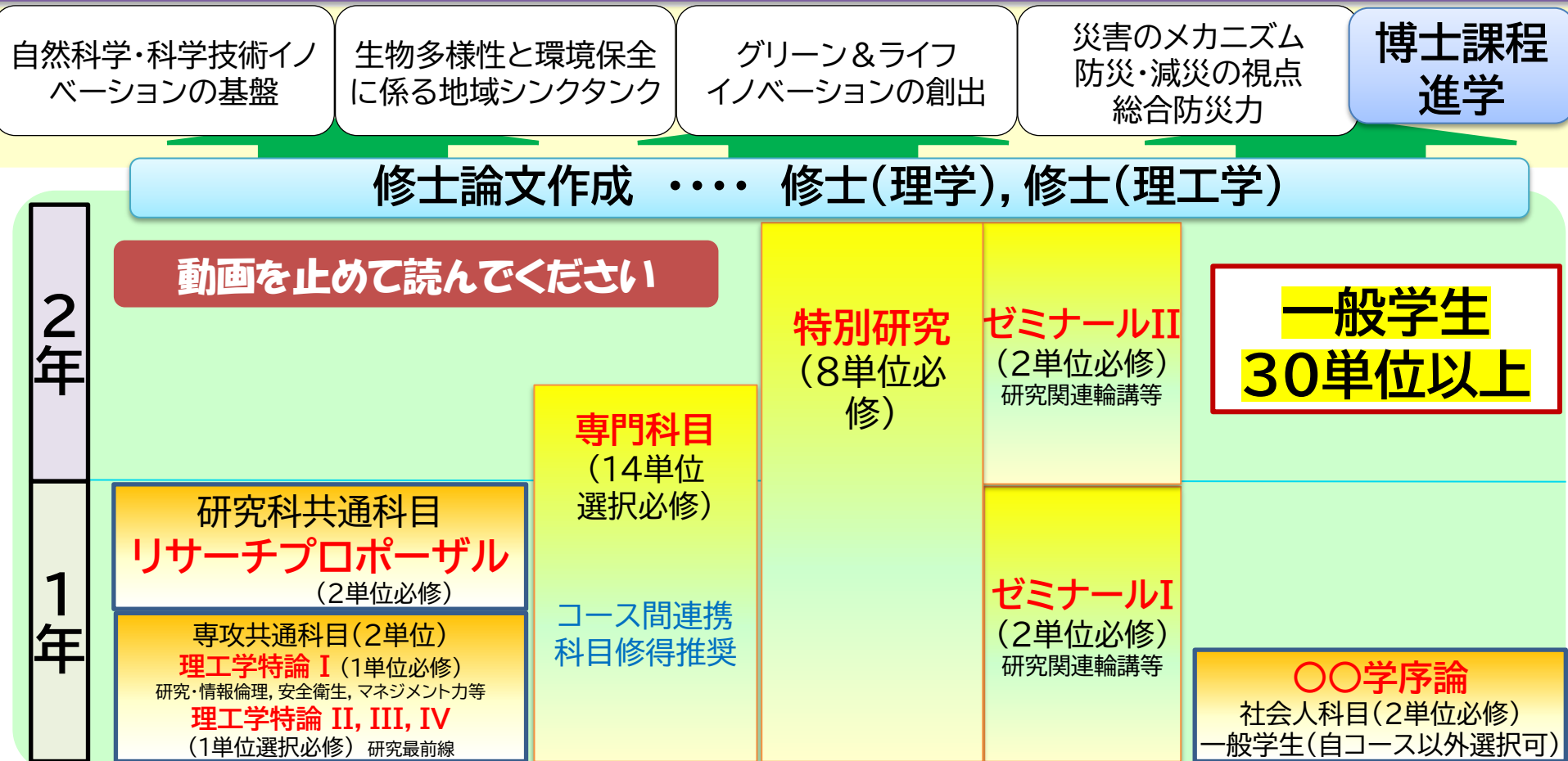
ゼミナール（必修） 4単位：「ゼミナールⅠ（M1）」「ゼミナールⅡ（M2）」

・・・ 自身の学問領域に密接な文献講読

特別研究（必修） 8単位： 修了するための研究

計 30単位以上

2 カリキュラム（修士課程・理工学専攻）



「理学」を基盤とした「理工学」教育・研究の展開

自己推薦特別選抜

一般選抜

私費外国人
留学生特別選抜

社会人特別選抜

2 カリキュラム: 情報科学・データサイエンス・DX教育プログラム 修士課程

令和7年4月から

データサイエンスの知識・技能を活かした高度専門職業人

博士課程進学

一般学生
30単位以上

		修士論文	修士（理工学）	
2年		専門科目 14単位 選択必修		ゼミナールII 2単位必修 通年 研究関連輪講等
1年	研究科共通科目 リサーチプロポーザル (2単位必修)	コア科目群 機械学習系科目 (4単位選択必修)	特別研究 8単位必修	ゼミナールI 2単位必修 通年 研究関連輪講等
	専攻共通科目(2単位) 理工学特論 I (1単位必修) 研究・情報倫理, 安全衛生, マネジメント力等 (SRU×地域)DX特論 (1単位必修) 地域課題解決力	周辺科目群 情報・理工学科目 (4単位選択必修)		情報科学・データサイエンス 序論 社会人科目 2単位必修

「情報科学・データサイエンス×理工学」

推薦特別選抜

自己推薦
特別選抜

一般選抜

私費外国人
留学生特別選抜

社会人
特別選抜

他大学・高専専攻科

高知大学理工学部

私費外国人留学生

社会人

情報科学・情報工学, 数学・物理, 化学・バイオ(実験), 生物(実地調査), 都市・防災系

2. 理工学専攻の教育（コース・プログラム）

詳細は募集要項でご確認ください

【数学物理学コース】

領域) 解析学、幾何学、代数学、確率論・統計学、理論物理学、
宇宙線・宇宙物理学、物性物理学、物性化学

【生物科学コース】

領域) 植物分類学、海洋生物学、植物生態学、理論生物学、
古生物学、分子古生物学、比較生化学、動物生理学、
細胞生物学

【化学生命理工学コース】

領域) 合成化学、溶液反応化学、機能性材料化学、機能物質化学、
水熱化学、天然物化学、細胞分子工学、生化学

【地球環境防災学コース】

領域) 地球物理学、地質学、土木工学、建築工学

【情報科学・データサイエンス・DX教育プログラム】

領域) 情報システム、数理・データサイエンス・複合

大学院入試では、事前に受入教員と必ず連絡を取ること！

【数学物理学コース】

領域

担当教員

解析学 …… 小野寺栄治

幾何学 …… 小松和志

代数学 …… 福間慶明・土基善文

確率論・統計学 …… 野村 昇・三角 淳

理論物理学 …… 津江保彦・仲野英司・斎藤卓也・石黒克也

宇宙線・宇宙物理学 …… 祖谷 元

物性物理学 …… 西岡孝・加藤治一

物性化学 …… 島内理恵・藤代 史

コースの領域と担当教員の詳細は、
「配付資料」または「募集要項」を確認ください

【生物科学コース】

領域

担当教員

植物分類学	・・・ 岡本達哉・片桐知之 藤川和美(＊)・瀬尾明弘(＊)
海洋生物学	・・・ 遠藤広光・斉藤知己・中山直英・伊谷 行
植物生態学	・・・ 三宅 尚・比嘉基紀・平岡雅規
理論生物学	・・・ 加藤元海
古生物学	・・・ 奈良正和
分子古生物学	・・・ 氏家 由利香
比較生化学	・・・ 宇田幸司
動物生理学	・・・ 有川幹彦
細胞生物学	・・・ 峯 一郎・関田 諭子

(＊:牧野植物園との連携協定に基づく客員教員)

【化学生命理工学コース】

領域

担当教員

合成化学	・・・ 和泉雅之・中野啓二・永野高志
溶液反応化学	・・・ 森 勝伸・小崎大輔・西脇 芳典
機能性材料化学	・・・ 松本健司・波多野慎悟・越智里香
機能物質化学	・・・ 米村俊昭・渡辺 茂・仁子陽輔
水熱化学	・・・ 梶芳浩二・恩田歩武・今村和也
細胞分子工学	・・・ 藤原滋樹・砂長 毅・山崎朋人
生化学	・・・ 杉山 成・湯浅 創

【地球環境防災学コース】

領域

担当教員

地球物理学・・・大久保慎人・村田文絵

地質学・・・橋本善孝・池原 実・岩井雅夫・山本裕二・
川畑 博・松岡裕美・藤内智士・長谷川精

土木工学・・・笹原克夫・原 忠・坂本 淳・渋谷欣弘

建築工学・・・山田伸之・野口昌宏・張 鑫(キン)

【情報科学・データサイエンス・DX教育プログラム】

領域

担当教員

情報システム …… Boaz Jessie Jackin・高田 直樹・

森 雄一郎・老川 稔・芝 治也・塩見 日隆

数理・データサイエンス

…… 岡本 竜・三好 康夫・木脇 太一・坂口 昌彦・

塩田 研一・鈴木 一弘・河井 達治・續木 大介

複合* …… 杉山 成・野村 昇・石黒 克也・小崎 大輔・張 鑫・

比嘉 基紀・加藤 元海・坂本 淳・斎藤 卓也

* 複合領域は他コースとの兼務になっています。

詳しくは、下記のURLをチェック！

<https://www.is.kochi-u.ac.jp/master-program/#summary>

3. 学士と修士の違いについて

学 士

- 就職活動時に「大卒以上」の求人に応募できる
- 収入アップの可能性が高まる
- 昇進に期待ができる
- 国家試験を受ける際に受験資格が緩和される場合がある

修 士

- 研究を自分で考えて進めることができる
- 高い専門性が身につく
- 就職先が学士よりも幅広くなる
- プレゼンテーション能力が高くなる
- 初任給が学士よりも高くなる

6年制の医学部、獣医学部、薬学部、歯学部などは
学部卒業でも「修士相当」

**高い専門性を身に付けるには6年かかることを
こころがける**

3. 学士と修士の違いについて

学 士

- 自身のポテンシャルが求められる。
- どれだけ自分から動いて仕事をこなしていけるかが重視される。
- 就活では、学生時代に試行錯誤して物事に取り組んだ事をアピールすることが重要。
- 企業から学生に取り組んだ事を聞くのは、主体性があるかどうかを見極めるため。
- 未経験の仕事にチャレンジできるかが重要な要素。

修 士

- 専門職の募集では内定をもらいやすい。
(メーカーの研究・開発職や、シンクタンクなどのコンサルティング業務など)
- 2年間研究を続けた経験が、即戦力として企業に貢献できるとみなされる。
- 専門分野である研究に関する実績をアピールできる！
- 自身の専門性の高さがアピールになる。

就職では、

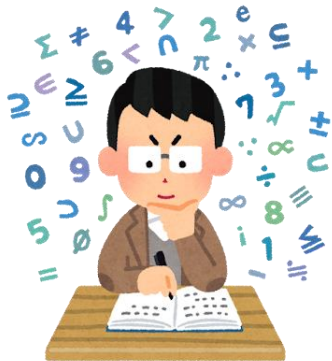
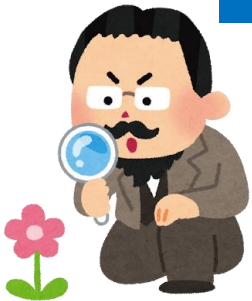
修士 = 学士のメリット + 専門性

修士修了後、さらに博士課程を目指す！

Global Standard !

- 博士課程に進む人は、大学教員、国の研究所、民間企業を目指す！
- 民間企業でも、一般的な職種ではなく、研究職など博士としての能力が生かせる仕事で採用されることが多い！
- 博士の学位は、世界が認める「研究者」のライセンス！

修士の学位を取得することは、専門性の高い職業に就職するための登竜門！



4. 入試について

数理物理学コース・生物科学コース・化学生命理工学コース・地球環境防災学コース

【自己推薦特別選抜】

2025年6月29日（日）

【第1次募集】 2025年8月19日（火）

【第2次募集】 2026年1月24日（土）

【第3次募集】 2026年2月27日（金）

自己推薦
特別選抜

募集人員
20名

化学生命理工学コース
は「事前審査」を実施

一般選抜

私費外国
人留学生
特別選抜

社会人
特別選抜

募集人員25名

合計 45名

4. 入試について

情報科学・データサイエンス・DX教育プログラム(IDDプログラム)

【自己推薦特別選抜】
2025年6月29日(日)

自己推薦
特別選抜

募集人員
若干名

「事前審査」
を実施

【推薦特別選抜】
2025年6月29日(日)

推薦特別
選抜

募集人員
10名

出身学校の学校長、
学部長、学科長等の
役職者が作成した
推薦書が必要

【第1次募集】2025年8月19日(火)

【第2次募集】2026年1月24日(土)

【第3次募集】2026年2月27日(金)

募集人員 5名

一般選抜

私費外国人留
学生特別選抜

社会人
特別選抜

合計 15名

4-1 自己推薦特別選抜について

- 定員

コース 20名 (合格者が20人に満たない場合は、欠員を一般選抜の募集人員に加えます)

IDDプログラム 若干名 (一般選抜の募集人員に含みます。)

- 出願資格

次の(1)と(2)に該当する者

(1) 次のいずれかに該当する者

① 大学を卒業した者及び2026年3月までに卒業見込みの者

② 学校教育法第104条第7項の規定により独立行政法人
大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与され
た者及び2026年3月31日までに授与される見込みの者

(2) 合格した場合に入学することを確約できる者

自己推薦特別選抜の受験心得

- 合格した場合、必ず、高知大学大学院理工学専攻に進学すること。

→ 他大学や他専攻の大学院、就活と天秤をかけない。

確約書を提出するので、辞退すると手続きが大変面倒です。
必ず、進学することを親御さんにも周知してください。

- 自己推薦を受ける方には、一般選抜第一次募集の筆記試験をパスできる学力を備えているのが前提であること。
- 志願理由並びに研究計画をしっかり準備する。
- 受け入れ教員に研究計画を確認してもらう。

1～3年の成績も重要

4-1 自己推薦特別選抜について

募集要項は5月14日 本学受験生サイトにて公表

化学生命理工学コース
情報科学・データサイエンス・
DX教育プログラム

事前審査書類受理期間
5月20日～22日

受験料なし

事前審査結果通知
6月6日発送

Pass!

受験料
あり

自己推薦特別選抜・出願期間 **6月17日～19日**

自己推薦特別選抜 **6月29日**

合格発表 **7月8日**

数学物理学コース
生物科学コース
地球環境防災学コース

志望する教員
との面談

志願確認書

4-1 自己推薦特別選抜（事前審査）

2025年5月20日（火）～ 22日（木） 8時30分～17時 <<必着>>

事前審査書類実施コース及び事前審査必要書類

コース名	必要書類	摘要
化学生命理工学 コース	学業成績証明書	出身大学又は最終出身学校の学長（学部長）等が作成し、厳封したもの。
	志望調書（事前審査用）	受験生サイトよりダウンロードして作成したもの。
	研究計画書（事前審査用）	受験生サイトよりダウンロードして作成したもの。
情報科学・データサイエンス・DX教育プログラム	事前審査申請書	受験生サイトよりダウンロードして作成したもの。
	返信用封筒（事前審査用）	表に住所・氏名を記入し、410円分の切手を貼付した長形3号（23.5cm×12cm）の封筒を同封すること。（事前審査結果通知に使用します。）

志望調書・研究計画書は、受入れ予定教員と事前に話し合って準備する！

4-1 研究計画書（事前審査）

2026 年度入試 研究計画書《事前審査用》←

研究計画書作成にあたっての注意←

- 1) 必ず、志望コースの、希望する指導教員と連絡を取っておいて下さい。←
- 2) 研究計画書は、本様式（2、3 ページ目）をもとに、ワード文書で作成して下さい。なお、作成時には研究計画書が 2 ページ分を超えない（本様式の体裁が崩れない）ように注意して下さい。←
- 3) 本様式の指定された枠内に日本語で、文字サイズ 11 ポイントとして入力してください。←
- 4) 図表や引用文献を適切に用い、分野が異なる審査員にも理解できるように入力してください。←
- 5) 必ず氏名、志望するコース及び教員名を入力してください。←
- 6) 最後に、漏れなく記入できているか確認した後、2、3 ページ目を紙に印刷をして他の出願書類と一緒に提出してください。←

2026年度入試 研究計画書《事前審査用》

志願者氏名	
志望するコース・プログラム及び教員名	
志望する研究課題名：	
1. 研究の背景（当該研究分野の現状や基本的な情報を記載してください。研究が過去の研究成果を踏まえている場合はその内容を記載してください。）	
2. 研究の目的（本研究によって何を明らかにしようとしているのか、どのような問題点などを解決しようとしているのかについて述べてください。）	

志願者氏名	
志望するコース・プログラム及び教員名	
3. 研究計画（研究目的を達成するための研究計画と方法について、焦点を絞って明確に記述してください。）	

4-1 自己推薦特別選抜（出願書類）

数学物理学コース・生物科学コース・地球環境防災学コース

①	入学願書	本要項添付の用紙による。
②	受験票、写真票、入学検定料払込証明書、座席票	本要項添付の用紙による。 ・それぞれを切り離さないで提出してください。 ・写真票には出願前3か月以内に撮影した写真（縦4cm×横3cm、正面、上半身、無帽）を貼付してください。
③	住所シール	本要項添付の用紙による。
④	最終出身学校の卒業（修了）（見込み）証明書	「出願資格（1）②」の該当者は提出しなくてよい。
⑤	志願確認書	本要項添付の用紙による。
⑥	学業成績証明書	出身大学又は最終出身学校の学長（学部長）等が作成し、厳封したもの。
⑦	志望調書	本専攻所定の用紙で、研究課題等について本人が作成したもの。
⑧	自己推薦書	受験生自身が本専攻所定の用紙に記入したもの。
⑨	入学確約書	本専攻所定の用紙に記入したもの。
⑩	入学検定料30,000円	本要項添付の用紙を用い郵便局・ゆうちょ銀行に払込み、②の「入学検定料払込証明書」に「振替払込受付証明書（大学提出用）」（郵便局・ゆうちょ銀行で受付局日附印を押印してもらったもの）を貼ること。（納入した入学検定料は、出願受付後においては返還しません。）
⑪	受験票送付用封筒	表に住所・氏名を記入し410円分の切手を貼付した長形3号（23.5cm×12cm）の封筒を同封すること。（出願受付後、受験票の送付に使用します。）

化学生命理工学コース、情報科学・データサイエンス・DX教育プログラム（事前審査実施）

上記の出願書類のうち、

①入学願書、②受験票、写真票、入学検定料払込証明書、座席票、③住所シール、④最終出身学校の卒業（修了）（見込み）証明書、⑧自己推薦書、⑨入学確約書、⑩入学検定料 30,000円、⑪受験票送付用封筒 を提出してください。

2025年6月17日（火）～19日（木）8時30分～17時 ‹‹必着››

⑤志願確認書（出願書類）

数学物理学コース・生物科学コース・地球環境防災学コース（事前審査の無いコース）

推薦特別選抜・自己推薦特別選抜用

受け入れ予定教員と事前に話し合ってください。

志 願 確 認 書

出願期間前に必ず行ってください。

年 月 日

高知大学大学院理工学専攻長 様

所属 :

職名 :

受入教員氏名（自署） :

2026 年度高知大学大学院総合人間自然科学研究科理工学専攻（修士課程）

の入学試験志願者（志願者氏名） が、

（志望する研究室名） 研究室に志願することを確認しました。

4-1 自己推薦特別選抜（選抜方法）

口頭試問及び面接と学業成績証明書、志望調書及び自己推薦書を総合して判定します。

学力検査日程

試 験 時 間		9時30分～
コース・プログラム	分 野	口頭試問・面接 (配点:口頭試問300、面接100)
数学物理学コース	数学分野	—全コース・プログラム共通— 口頭試問・面接 (合計1人20分～30分程度)
	物理科学分野	
生物科学コース		
化学生命理工学コース		
地球環境防災学コース		
情報科学・データサイエンス・DX教育プログラム		

4-2 推薦特別選抜について

情報科学・データサイエンス・DX教育プログラム (IDDプログラム)

- ・ 定員 (IDDプログラムのみ)

10名 (合格者が10人に満たない場合は、欠員を一般選抜の募集人員に加えます)

- ・ 出願資格について

次の(1)～(4)に該当する者

(1) 次のいずれかに該当する者

① 大学を卒業した者及び2026年3月までに卒業見込みの者

② 学校教育法第104条第7項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込みの者

(2) 学業等成績が優秀で人物・健康状態ともに良好である者

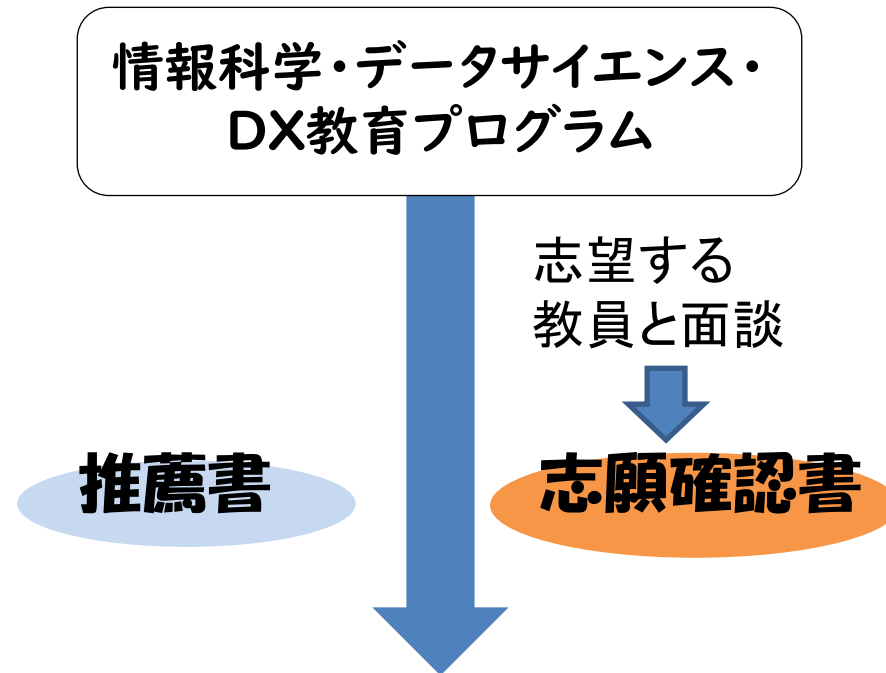
(3) 学校長、学部長、学科長等の役職者が責任を持って推薦できる者

(4) 合格した場合、入学することが確約できる者

受入教員に相談

4-2 推薦特別選抜について

募集要項は5月14日 本学受験生サイトにて公表



推薦特別選抜・出願期間 6月17日~19日

推薦特別選抜 6月29日

合格発表 7月8日

4-2 推薦特別選抜（出願書類）

情報科学・データサイエンス・DX教育プログラム

①	入学願書	本要項添付の用紙による。
②	受験票、写真票、入学検定料払込証明書、座席票	本要項添付の用紙による。 ・それぞれを切り離さないで提出すること。 ・写真票には出願前3か月以内に撮影した写真（縦4cm×横3cm、正面、上半身、無帽）を貼付すること。
③	住所シール	本要項添付の用紙による。
④	最終出身学校の卒業（修了）（見込み）証明書	「出願資格（1）②」の該当者は提出不要。
⑤	志願確認書	本要項添付の用紙による。
⑥	学業成績証明書	出身大学又は最終出身学校の学長（学部長）等が作成し、厳封したもの。
⑦	志望調書	本専攻所定の用紙で、研究課題等について本人が作成したもの。
⑧	推薦書	本専攻所定の用紙で、出身学校の学校長、学部長、学科長等の役職者が作成したもの。
⑨	入学確約書	本専攻所定の用紙に記入したもの。
⑩	入学検定料30,000円	本要項添付の用紙を用い郵便局・ゆうちょ銀行に払込み、②の「入学検定料払込証明書」に「振替払込受付証明書（大学提出用）」（郵便局・ゆうちょ銀行で受付局日附印を押印してもらったもの）を貼ること。 （納入した入学検定料は、出願受付後においてはいかなる理由があっても返還しません。）
⑪	受験票送付用封筒	表に住所・氏名を記入し、410円分の切手を貼付した長形3号（23.5cm×12cm）の封筒を同封すること。（出願受付後、受験票の送付に使用します。）

<その他の必要書類>

1. 日本に在住する外国人にあっては、市区町村長の発行する住民票の写し（国籍、在留資格、期間が記載されたもの）を上記書類に加え提出してください。
2. 出願資格（1）②による学士の学位を授与された者は「学位記」の写し又は学位授与証明書を提出してください。なお、見込みの者は当該「修了見込み証明書」及び「学士の学位授与申請（予定）証明書」（様式随意）を提出してください。

⑤志願確認書（出願書類）

受け入れ予定教員と事前に話し合って準備してください。

出願期間前に必ず行ってください。

推薦特別選抜・自己推薦特別選抜用

←

志 願 確 認 書

年 月 日

←

高知大学大学院理工学専攻長 様

←

所属 : ←

職名 : ←

受入教員氏名（自署） : ←

←

←

2026 年度高知大学大学院総合人間自然科学研究科理工学専攻（修士課程）

の入学試験志願者（志願者氏名） が、

（志望する研究室名） 研究室に志願することを確認しました。

⑧推薦書（出願書類）

受け入れ予定教員と事前に話し合ってお早目に準備してください。

推薦特別選抜用

推 薦 書

年 月 日

高知大学長 殿

ふりがな

被推薦者氏名

（ 年 月 日生）

年 月 日 卒業・卒業見込み

上記の者を、貴専攻が実施する推薦特別選抜の志願者としてふさわしい人物と認め、責任をもって推薦いたします。

推薦理由

所属・役職名

推薦者氏名

印

4-2 推薦特別選抜（選抜方法）

面接と学業成績証明書、志望調書を総合して判定します。

学力検査日程

試 験 時 間	9時30分～
選 抜 方 法	書類審査・面 接 (配点:書類審査200・面接100)

4-3 一般選抜について

- 定員

コース 25名

IDDプログラム 5名

社会人特別選抜、私費外国人留学生特別選抜の募集人員を含みます。

本プログラムの募集人員に満たない、本専攻の募集人員に満たない、あるいは総合人間自然科学研究科(修士課程)の募集人員に満たない場合は、第2次・第3次募集を行うことがあります。

- 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

(1) 大学を卒業した者及び2026年3月までに卒業見込みの者

(2) 学校教育法第104条第7項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込みの者

(3)～(9)は募集要項にて確認してください。

4-3 一般選抜（出願期間）

【第1次募集】 2025年7月15日(火)から17日(木)

【第2次募集】 2025年12月16日(火)から18日(木)

【第3次募集】 2026年2月10日(火)から13日(金)

8時30分～17時《必着》

- ・ 自己推薦特別選抜、推薦特別選抜、一般選抜・第1次募集で定員を満たした場合、第2次募集、第3次募集を行わない場合があります。

4-3 一般選抜（学力検査）

【第1次募集】 試験日 2025年8月19日（火）

試験時間		9時30分～11時30分	13時30分～
コース	分野	専門科目 (配点:300)	
数学物理学 コース	数学分野	微分積分学、線形代数学、集合と位相の3科目必修	面接 (配点:100)
	物理科学分野	物理学、物理化学の中から1科目選択	
生物科学 コース		植物分類学、植物生態学、海洋植物学、細胞生物学、動物生理学、理論生物学、魚類学、動物生態学、比較生化学、古生物学から3科目選択	
化学生命理工学コース		無機化学、物理化学、有機化学、分析化学、分子生物学、生化学、細胞機能学から3科目選択	
地球環境防災学コース		地震学、気象学、構造地質学、テクトニクス、地震地質学、岩石学、層位学、古地磁気学、古気候学、古海洋学、斜面防災工学、構造工学、地盤工学、耐震工学、木質構造学、水理学、都市計画学から2科目選択	

4-3 一般選抜（学力検査）

【第2次募集】 試験日 2026年1月24日（土）

【第3次募集】 試験日 2026年2月27日（金）

試験時間		9時30分～
コース	分野	プレゼンテーション試験・面接 (配点: プレゼンテーション300・面接100)
数学物理学コース	数学分野	—全コース共通— 卒業研究等で行った自分の研究内容, あるいは修士入学後の研究計画・研究の抱負等を, プロジェクターを用いて発表する (1人10分～15分間) 引き続き質疑応答・面接 (合計1人30分程度)
	物理科学分野	
生物科学コース		
化学生命理工学コース		
地球環境防災学コース		

- 自己推薦特別選抜、推薦特別選抜、一般選抜・第1次募集で定員を満たした場合、第2次募集、第3次募集を行わない場合があります。

4-3 一般選抜（学力検査）

【第1次募集】 2025年8月19日（火）

【第2次募集】 2026年1月24日（土）

【第3次募集】 2026年2月27日（金）

試験時間	13時30分～
プログラム	プレゼンテーション試験・面接 (配点: プレゼンテーション300・面接100)
情報科学・データサイエンス・ DX教育プログラム	卒業研究等で行った自分の研究内容、 あるいは修士入学後の研究計画・研究の抱負等を、 プロジェクターを用いて発表する (1人10分 ～ 15分間) 引き続き質疑応答・面接 (合計1人30分程度) プレゼンテーション・面接は、日本語とする。 ただし、日常的に使われる日本語力を持ち、ディスカッ ションや研究等のより幅広い場面で使われる日本語を理 解できるかを判断する。

4-4 合格発表

自己推薦特別選抜・推薦特別選抜： 2025年7月8日(火)

一般選抜

第1次募集： 2025年9月5日(金)

第2次募集： 2026年2月10日(火)

第3次募集： 2026年3月9日(月)

4-5 入学手続き

自己推薦特別選抜、推薦特別選抜、一般選抜（第1次募集・第2次募集）の合格者

2026年3月4日（水）8:30

～3月6日（金）17:00 《必着》

一般選抜（第3次募集）

2026年3月17日（火）8:30

～3月18日（水）17:00 《必着》

日本学生支援機構奨学生

- 日本学生支援機構奨学生として選考の上、「大学院第1種奨学生」、「大学院第2種奨学生」として貸与される奨学金があります

詳細は学生支援課 (gs03@kochi-u.ac.jp)
にお問い合わせください。

★ 高知CST養成プログラム

高知CST (Core Science Teacher) 養成プログラム

- ・高知大学と高知県教育委員会の連携・協力で実施
- ・理科の専門的知識・技能を十分に備え、学校・地域の中核となる理科教員養成のためのカリキュラム

対象者

- ・理工学専攻学生が対象
- ・小学校、中学校または高等学校教員免許状（理科）取得者（見込みも可）もしくは大学院入学後に長期履修制度等を使って小学校、中学校または高等学校教員免許状（理科）を取得する者

履修期間

- ・2年間

詳しくは、[高知CST養成センター事務局（朝倉キャンパス学生サービスセンター2階）](http://www.kochi-u.ac.jp/k-cst/)

<http://www.kochi-u.ac.jp/k-cst/>

5 問合せ

何かご質問等ありましたら、

森 勝伸（理工学専攻学務委員長）

メールアドレス mori@kochi-u.ac.jp

入試課大学院担当（出願書類）

メールアドレス nys-web@kochi-u.ac.jp

理工学部教務係

メールアドレス [gm17@kochi-u.ac.jp](mailto:gml7@kochi-u.ac.jp)

まずは担当教員と相談！